

		項目		自己評価			
IV	保護者への対応	1	情報の発信と受信	① 児童の様子、保育のポイントなどをクラブだよりなどで知らせている。	3.2		
				② 個々の児童の様子を直接または電話、連絡帳等で伝えている。	3.2		
				③ いつでも保護者と個別懇談ができるようにしている。	3.0		
				④ 保護者の話を、心を開いてよく聴くことができる。	3.6		
		2	協力と支援	① 保護者からの様々な訴え・要望・意見については、安易に受けたり断ったりせず、責任者に報告・相談をしている。	4.0		
				② 保護者の要望を受け止めて実行する場合には、そのことの教育的な意義付けをはっきりとさせている。	3.8		
				③ 保護者の協力が必要な場合は事前に責任者と協議し、具体的な協力の有り方について保護者と話し合っている。	3.8		
		3	守秘義務の遵守	① 保護者の住所・電話番号など個人情報の管理について、クラブの方針に従っている。	5.0		
				② 個々の児童情報は口外していない。	4.6		
				③ 保護者・家族の情報は口外していない。	4.6		
		4	対応上のマナー・良識	① 正しい日本語「丁寧な言葉・敬語」を用いて語りかけ、相手の話も落ち着いてしっかりと聞いている。	3.8		
				② 保護者と親しくなっても、友達同士のような話し方をしていない。	4.0		
				③ 相手を尊重し、見下した態度をとらない。	4.2		
				④ 長期の欠席・入院等の場合は、見舞ったりクラブの様子を伝えたりしている。	3.0		
				⑤ 保護者の国籍・思想・宗教により、また、児童の性差・障害・個性などによって区別・差別をしていない。	4.2		
				⑥ 保護者からの伝言や依頼について、メモをするなどきちんと対応している。	4.0		
		5	クレームへの対応	① 保護者からクレームが合った場合は、まず謙虚にその話を聞き、責任者に報告、連絡、相談している。	4.4		
				② クレームによっては教職員全体で検討し、共通理解の上で対処している。	4.4		
		V	地域社会への	1	地域の自然や人々との関わり	① 地域の人々と、親しく挨拶や会話を交わしている。	3.8
						② 地域の自然や主な施設・主な行事等について、ある程度理解している。	3.5
						③ 地域の自然や機関を、指導計画の中で位置づけて活用している。	3.8
				2	小学校との連携	① 小学校の教育内容について、理解しようとしている。	3.6
						② 児童の情報を得るように努めている。	3.0
3	地域への解放と支援			① 地域の小学校の行事や公開授業に、関心を持っている。	3.5		
				② 地域開放や子育て支援について、具体的な形や内容を理解している。	2.8		
				③ 地域開放や子育て支援のあり方について、教職員全体で話し合っている。	3.0		